

- 問1 愛媛県今治市でタオルの生産が発展した背景には、製造工程における「水」の質が深く関わっています。この地域の水がタオルづくりににおいて高く評価され、地場産業の発展を支えた理由として最も適切な説明はどれですか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
1. 鉄分を多く含む水質を利用することで、独自の重厚感ある色合いを表現することが可能になったため
2. 塩分を適度に含んだ地下水が豊富で、綿糸の強度を高め、速乾性に優れた製品を作ることができたため
3. 重金属が少なく硬度が低い「軟水」が豊富で、糸を晒したり染めたりする工程で繊維を傷めず柔らかく仕上がるため
4. 年間を通じて水温が非常に低く、染色後の色落ちを防ぐための冷却水として最適であったため
- 問2 中国・四国地方には、政府の出先機関や企業の支社・支店が集まる拠点となる都市がある。人口が100万人を超え、このような機能を持つ「地方中枢都市」として分類される都市はどれか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 高松市
2. 松山市
3. 広島市
4. 岡山市
- 問3 日本の主要な農業県である北海道、秋田県、茨城県、愛媛県の4県について、農業産出額の品目別割合を比較したとします。このうち、主食である米の割合が低く、一方で果実の産出額が全体の約3分の1という極めて高い比率を示す県として正しいものを選びなさい。 (2020年 岩手県公立入試 類似)
1. 秋田県
2. 愛媛県
3. 北海道
4. 茨城県
- 問4 日本の主な工業地域・地帯における製品出荷額の内訳を示した統計において、機械類の割合が約3割にとどまる一方で、化学工業が約2割、金属工業が1割強を占め、他の工業地域に比べて化学や金属などの基礎素材産業の割合が高い特徴を持つ工業地域はどれですか。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
1. 瀬戸内工業地域
2. 北九州工業地域
3. 中京工業地帯
4. 阪神工業地帯
- 問5 四国地方の北東部に位置する県、北陸地方の富山県、紀伊半島の和歌山県、九州地方の宮崎県の4つを比較したとき、この中で「日本で最も面積が小さい」という特徴を持つ県はどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
1. 高知県
2. 徳島県
3. 愛媛県
4. 香川県
- 問6 日本の各都市の気候統計を分析した際、香川県高松市のように「1月の降水量が約50mm、8月の降水量が約100mm」という、夏・冬ともに降水が控えめで、年間を通じて雨が少ない特徴を持つ気候区分を何と呼びますか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
1. 中央高地の気候
2. 日本海側の気候
3. 瀬戸内の気候
4. 太平洋側の気候
- 問7 西日本の地図において四国地方の西側を占め、瀬戸内海や宇和海に面した温暖な気候をいかして果樹栽培が発達し、特に「みかん」の生産で全国的に有名な県を選びなさい。 (2019年 北海道公立入試 類似)
1. 和歌山県
2. 広島県
3. 大分県
4. 愛媛県
- 問8 鳥取県の農業について述べた次の文のうち、産出額の構成とその背景について説明したものとして正しいものはどれですか。 (2017年 富山県公立入試 類似)
1. 瀬戸内海の温暖な気候と傾斜地を活かした、レモンやみかんなどの果実栽培が中心である。
2. 大山の裾野に広がる広大な土地を利用して、牛や鶏などの飼育が盛んに行われている。
3. 干拓によって得られた広大な平地を利用した、大規模な稲作が中心となっている。
4. 大都市に近い立地を活かし、キャベツやレタスなどの近郊農業が産出額の半分以上を占める。
- 問9 四国地方の県庁所在地の位置関係において、四国山地を境に他の3つの県庁所在地とは離れて太平洋側に位置し、かつて土佐藩の城下町として発展した都市はどこですか。 (2018年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 徳島市
2. 高知市
3. 松山市
4. 高松市
- 問10 中国・四国地方の政治や経済の拠点である広島市には、国の省庁が設置する組織や、民間企業の支店が数多く集まっています。このような、特定の地域全体を管轄する国の組織を何と呼びますか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 出先機関
2. 独立行政法人
3. 特別区
4. 地方公共団体
- 問11 愛媛県産の養殖マダイの生産量と全国シェアの推移をまとめた資料では、1990年代半ばを境に生産量が増加傾向に転じています。この時期に起こった社会資本の整備と、それが産業に与えた影響について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2023年 福井県公立入試 類似)
1. 高速道路網と本州を結ぶ橋が整備されたことで、京阪神などの大都市圏に向けた迅速な出荷体制が整った。
2. 瀬戸内海の干拓が進んだことで、養殖いかだを設置するための静穏な海域が飛躍的に拡大した。
3. 四国内の鉄道網が電化・複線化されたことで、貨物列車による大量輸送が養殖業の主流となった。
4. 大規模な港湾施設が整備されたことで、海外から安価な餌を大量に輸入できるようになり、生産コストが激減した。
- 問12 中国・四国地方の各県の産業構造について、統計に現れる背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 山口県で重化学工業が発達しているのは、広大な平野部を利用して大規模なシリコンバレーが形成されたからである。
2. 香川県で果実産出額が一定の割合を占めるのは、季節風を遮る高い山脈がないため、年間を通じて降水量が非常に多いからである。
3. 中国・四国地方のすべての県において、共通して人口が増加傾向にあるのは、本州四国連絡橋の整備によりストロー現象が解消されたからである。
4. 広島県で外国人宿泊者数が多いのは、平和記念都市としての役割や、海上に立つ鳥居で知られる厳島神社などの観光資源が豊富だからである。
- 問13 かつて大阪・徳島間の移動はフェリーの利用を含め約650分を要していましたが、交通網の整備により約350分へと大幅に短縮されました。この変化が四国地方の農水産物の出荷に与えた影響について、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
1. 鉄道網の整備によって大量輸送が可能になったことで、フェリーによる輸送が完全に廃止され、輸送コストが大幅に上昇した。
2. 瀬戸大橋の開通により岡山県を経由するルートが主流となったため、徳島県産の農水産物は四国内での消費が中心となった。
3. 本州四国連絡橋の開通によって輸送時間が短縮されたことで、物流が効率化し、鮮度が重視される農水産物の出荷量が増加した。
4. 高速道路の整備によって四国内の移動は円滑になったが、本州側への輸送距離が長くなったため、大阪市場への出荷量は減少した。
- 問14 香川県の讃岐平野では、年間を通して降水量が少ない瀬戸内の気候に対応するため、農業用水を確保する目的で数多くの施設が作られました。平野部に点在するこれらの施設を何と呼びますか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
1. 遊水地
2. ため池
3. 輪中
4. 掘込港湾